

全商連「税金問題研究集会」

**電子帳簿やインボイスの問題点
納税者の権利を守る運動を**

広島北民商は4月23日（土）、全商連主催の「第20回税金問題研究集会」に参加しました。久村会長と大久保副会長、事務局の陶山と磯道がオンラインで参加しました。また、全国からも同じように252ヵ所からの参加がありました。

最初に石村耕治・白オウ大学名誉教授が「デジタル化で守られるべき納税者の権利」について講演されました。改正電帳法と電子



オンライン集会の一場面

利・利益が守られてはじめて税務のデジタル化は許される」と話されました。

続いて中山眞全商連常任理事による報告と問題提起がおこなわれました。情勢を交え、消費税減税、インボイス制度の実施中止の展望と運動方向を示し、

デジタル化の下で様変わりする税制・税務行政の特徴をつかみ、自主記帳・自主計算・自主申告の運動強化に踏み出す「税金の民商」の本領を発揮し、要求実現のために仲間を増やしてきた全商連総会を迎えましょうと訴えました。

調査権の範疇。税務署に言われた通りにする」と回答した事に抗議し、懇談を重ね、預金者に事前に連絡する事など「（民商の）申し入れの通りにする」と回答を変えさせた事を紹介しました。

参加した大久保副会長からは、「だんだん業者が追い詰められている。税務調査でも、立会を理由にした消費税の仕入税額否認（経費を認めない）を脅し文句にするケースが多く、その時々でたまたか新しい制度も、横文字で分かりにくく、いつのまにか始まっている。丸め込まれないようにしないといけない。小泉さんのオンライン署名はすごい。どうやればいいのかは分からないけど（笑）」という感想が出されました。

【磯道記】

インボイス対策学習会

4月25日（月）、民商事務所で税金対策部主催のインボイス対策学習会を開催し、8組10名が参加しました。消費税の仕組み、免税業者の納税負担、課税業者の対応などを学び、竹本税対部長からの「署名や選挙で、インボイスを中止・延期させよう」との訴えに、参加者全員がうなずいていました。



【陶山記】

**安佐北区市議補選 投票率19.07%
無関心では「政治とカネ」変わらない
参院選、地方選で投票率アップを**

4月24日（日）に投票を迎えた安佐北区の市議補欠選挙が終わりました。投票率がわずかに19.07%で、前回の半分にも満たない過去最低での選挙となりました。

表れていました。調査では、重視する政策・争点のトップが「政治とカネ」問題で、その中で「一番重視している」と答えた人の投票率は、清水さんが31.7%と最も高かったと報じています。清水さんは前回選挙から、投票数・得票率ともに1.3倍まで伸びました。

一方で、自民党議員の応援を受けながら無所属で立候補するなど、河井疑惑の争点隠しの面も出てきました。今回の選挙では、投票率が低いながらも、「政治とカネ」の問題を市民も重視している事が報じられました。夏の参院選、来年の地方選では、政治への関心を高め、主権者の権利として投票に行くように周りの方とも話をしましょう。

【陶山記】

後半は全国の民商から7か所、活動報告がありました。広島県連は寺田県連事務局長が、金融機関の本店懇談について報告しました。25年続く本店懇談は広島県連の伝統です。過去に広島銀行本店が「照会は税務署

5.11

- ◎10日（火）
 - ・婦人部役員会
 - ・要求運動部会
 - ・組織教宣部会
- ◎11日（水）
 - ・共済会理事会
 - ◎12日（木）
 - ・陽気な道場
 - ◎15日（日）
 - ・県連理事会
 - ◎16日（月）
 - ・常任理事会

滞納・多重債務・サラ金のご相談は
『陽気な道場』へ
毎週木曜日 夜7時から

税務調査・申告・納税のご相談は
『税金道場』へ
毎月第1・3火曜日 夜7時から